

令和5年度第1回恵庭創生懇談会

日 時 令和5年7月3日（月）16時00分～17時30分
会 場 恵庭市役所 3階 301・302会議室

次 第

1. 開 会
2. 市長あいさつ
3. 恵庭創生懇談会委員自己紹介
4. 座長選任
5. 議 事
 - <報告>
 - (1) 恵庭市総合戦略及び恵庭創生懇談会について
…資料1
 - (2) 第2期恵庭市総合戦略 数値目標・KPIについて
…資料2
 - (3) 令和4年度地方創生推進交付金 交付実績及び効果
検証について…資料3
 - (4) 令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金
採択状況について…資料4
 - (5) 第3期恵庭市総合戦略の策定について…資料5
6. 閉 会

これまでの国と恵庭市の地方創生に関する取組経緯

平成26年9月 (2014)	【国】直面する人口減少克服・地方創生という構造的な課題に取り組むため「まち・ひと・しごと創生本部」を設置
平成26年12月 (2014)	【国】「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(国の長期ビジョン)」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略(国の総合戦略)」を策定 ➢地方自治体に対しては、平成27年度中に地方版総合戦略を策定すること、また策定にあたり、産官学金労言士で構成する推進組織で審議することについて通知
平成27年6月 (2015)	【市】「恵庭創生懇談会」設置
平成27年10月 (2015)	【市】恵庭市総合戦略策定（平成31年度まで）
令和元年12月 (2019)	【国】「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(令和元年版)」及び第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定
令和2年3月 (2020)	【市】第2期恵庭市総合戦略策定（令和6年度まで）
新型コロナウイルス感染症拡大による社会情勢の変化	
令和4年12月 (2022)	【国】デジタル技術の活用を主眼に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定 ➢【市】第2期恵庭市総合戦略の計画期間を1年前倒しし、第3期総合戦略策定を目指す

地方創生関係交付金の概要

「**地方版総合戦略**」に基づいて、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な取組、地域特性を活かした特徴的な事業に対して、国が財政的な支援を行う交付金（補助率1/2・交付税措置あり）

① 地方創生推進交付金（平成28年度～）【ソフト事業】

◆ 恵庭市の採択実績 ◆

- ・広域ネットワークによる商品ブランド化事業（H28～H30）
- ・ガーデンデザインプロジェクト（H28～R2）
- ・「さっぽろ圏」若者定着促進広域事業（H29～R1）
- ・修学教育旅行等の学生の受け入れを核とした将来の対恵庭観光・投資拡大推進事業（H29～R1）
- ・いしかりライフstyle魅力発信・若者地元定着促進事業（R2～R6）
- ・外国人も暮らしやすく・活躍できる多文化共生のまちづくり事業（R2～R4）
- ・新ガーデンデザインプロジェクト推進事業（R3～R7）

② 地方創生拠点整備交付金（平成28年度～）【ハード事業】

◆ 恵庭市の採択実績 ◆

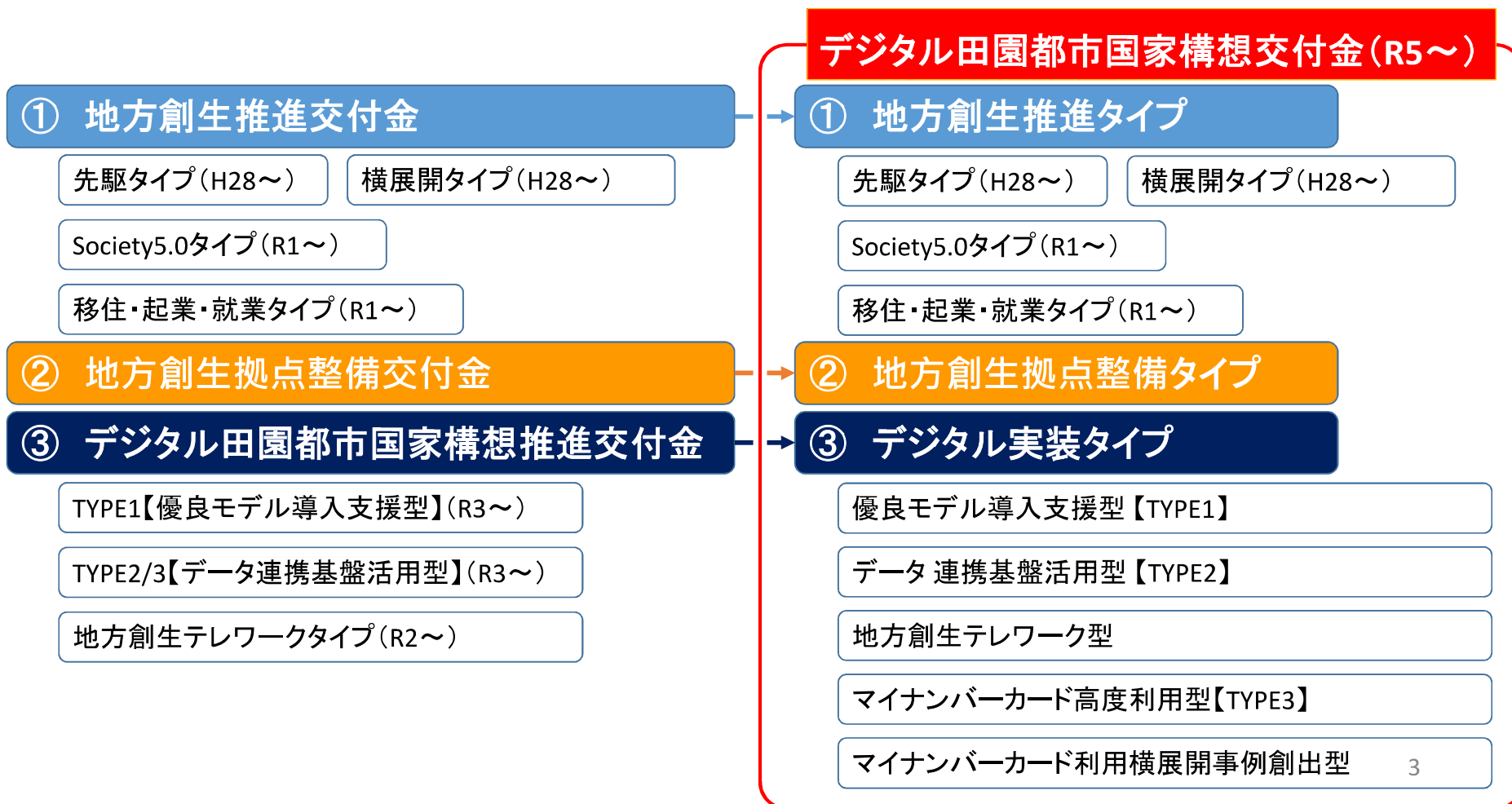
- ・「花ロードえにわ」（道の駅）と農畜産物直売所による農商工等連携拠点整備事業（R1）
- ・子育て支援、教育、観光を融合させた花のまちづくり拠点（センターハウス）整備 事業（R1）

③ デジタル田園都市国家構想推進交付金（令和3年度～）【デジタル実装】

デジタル技術を活用して地域の課題解決や魅力向上に基づく事業を支援するもの。
（令和4年度採択実績なし）

令和5年度にデジタル田園都市国家構想交付金の創設

- ・「デジタル田園都市国家構想」の実現による地方の社会課題解決や魅力向上の取組を深化・加速化する観点から、「デジタル田園都市国家構想交付金」を創設し、地方創生推進交付金・地方創生拠点整備交付金・デジタル田園都市国家構想推進交付金の3つを統合。
- ・**第3期恵庭市総合戦略に位置付ける先駆的・横断的施策な事業について、本交付金の活用も検討。**



恵庭創生懇談会開催要領

(趣旨)

第1条 恵庭創生懇談会（以下「懇談会」という。）は、「恵庭創生懇談会の開催について（平成27年5月1日市長決裁）」に定めるもののほか、この要領に定めるところによる。

(所掌事務)

第2条 懇談会の所掌は、次のとおりとする。

- (1) 「恵庭市総合戦略」の推進及び進捗状況の検証に関すること。
- (2) その他恵庭市の創生に必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 懇談会の構成員は、10名程度とする。

- 2 構成員は、地域の関係者「産官学金労言士デジタル」の中から市長が指名する。
- 3 特別の事項を検討するため必要があるときは、懇談会に臨時構成員を置くことができる。

(構成員)

第4条 構成員の任期は、1年とする。

- 2 構成員は、再任を妨げない。ただし、補欠の構成員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 懇談会は、市長が招集する。

- 2 懇談会に座長を置き、構成員の互選により定める。
- 3 座長は、会務を総理し、懇談会を代表する。
- 4 座長に事故があるときは、座長のあらかじめ指定する構成員がその職務を行う。
- 5 懇談会は、必要に応じ関係者の出席を求め、その意見又は説明を聞くことができる。

(報償)

第6条 構成員への謝礼として、会議出席1回につき6,000円を支払う。

(補則)

第7条 この要領に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、座長が定める。

附 則

この要領は、平成27年5月1日から実施する。

附 則

この要領は、平成28年4月25日から実施する。

附 則

この要領は、平成29年6月5日から実施する。

附 則

この要領は、令和5年6月2日から実施する。

第2期恵庭市総合戦略ガーデンシティプラン 令和4年度(計画3年目)数値目標・KPI 資料2

※ 実績及び数値目標については、直近(最新)の数値を記載

進捗率欄が ■ ・・・目標達成
■ ・・・新型コロナウイルスの影響あり

【基本目標(1)人がつながり人口減少に負けない魅力あるまちづくり】						
区分	計画の基準値	数値目標(第2期)	R4年度実績値	進捗率	備考	
KPI	複合施設利用者数(人)	H30 593,956	R6 636,076	R4 636,800	100%	(内訳) ・えにあず:560,000人 ・黄金ふれあいセンター:44,323人 ・かしのもり:32,477人
	都市間連携による商品開発数(5年間累計個数)	R元 2	R6 10	R4 11	110%	(内訳)R2:2個 R3:1個 R4:8個
	エコバス利用者数(人)	H30 299,270	R6 300,000	R4 318,254	106%	
	最寄りの駅周辺に賑わいがあると思う人の割合(%)	H30 28	R6 30	R3 15.5	52%	R3年度恵庭市市民意識調査結果より
	公共施設床面積(m ²) ※目標値より下回ることが目標	H30 254,169	R6 252,661	R4 253,259	100%	
	PPP・PFI件数(件)	H30 18	R6 23	R3 22	96%	

【基本目標(2)安全安心に住み続けたいまちづくり】						
区分	基準値	数値目標(第2期)	実績値	進捗率	備考	
KPI	市ホームページセッション数(セッション)	H30 971,727	R6 1,000,000	R4 1,536,584	154%	
	住み替えフェア参加者数(5年間累計人)	H30 216	R6 500	R4 62	12%	(5年間累計内訳) R2:中止 R3:中止 R4:62人
	複合施設利用者数(人)	H30 593,956	R6 636,076	R4 636,800	100%	(内訳) ・えにあず:560,000人 ・黄金ふれあいセンター:44,323人 ・かしのもり:32,477人
	応急手当講習受講者数(累計人)	H30 35,000	R6 42,000	R4 42,538	101%	(内訳)R1:2,169人 R2:2,381人 R3:1,050人 R4:1,938人

【基本目標(3)恵庭らしさを活かした魅力あるまちづくり】						
区分	基準値	数値目標(第2期)	実績値	進捗率	備考	
KPI	観光入込客数(人)	H30 1,356,869	R6 1,572,000	R4 2,012,743	128%	
	製造品出荷額等(億円)	H29 1,560	R5 1,600	R2 1,418	89%	2021年(令和3年)工業統計調査結果より
	ふるさと納税額(万円)	H30 33,294	R6 100,000	R4 248,789	249%	
	産業連関表作成	H30 -	R6 作成	R4 -	-	
	COOL CHOICE賛同登録件数(累計件)	R元 3,693	R6 9,000	R4 5,739	64%	(内訳)R2:2,023件 R3:0件 R4:23件 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、登録を呼びかける機会となるイベントを中止
	地元(大学・専門学校)卒業生の地元就職(人)	H30 25	R6 50	R4 17	34%	R4年度学校基本調査(独自調査)結果 ※対象:市内1大学、2専修学校
	農福連携による就労者・就労訓練者数(5年間累計人)	H30 2,479	R6 7,000	R4 10,832	155%	(内訳)R2:5,078 R3:3,248 R4:2,506 ※受け入れ農家での作業内容追加による就労者及び就労訓練者数の大幅増
	起業件数(5年間累計件数)	H30 42	R6 70	R4 61	87%	(内訳)R2:22件 R3:23件 R4:16件
	日本語習得支援ボランティア育成セミナー・講座参加者数(5年間累計人)	R元 0	R6 100	R4 316	316%	(内訳)R2:39人 R3:68人 R4:209人
	オーダーメイドツアー数(5年間累計件)	R元 12	R6 70	R4 24	34%	(5年間累計内訳) R2:4件 R3:3件 R4:17件

【基本目標(4)希望を持って子育てしたくなるまちづくり】						
区分	基準値	数値目標(第2期)	実績値	進捗率	備考	
KPI	子育て応援企業表彰件数(5年間累計件)	H30 6	R6 5	R4 9	180%	(内訳)R2:3件 R3:4件 R4:2件
	合計特殊出生率	H30 1.33	R6 1.6	R3 1.35	84%	令和3年度人口統計調査結果及び令和3年4月1日の市内人口により算出
	土曜授業延べ日数(日)	R元 32	R6 38	R4 28	74%	

↓
それぞれの基本目標で定めたKPI(重要業績評価指標)が達成されることで、総合戦略が目指す目標(「数値目標」)の達成が期待。

○数値目標						
区分	計画の基準値	数値目標(第2期)	実績値	進捗率	備考	
数値目標	純移動数(累計人)	H30 562	R6 822	R4 1,003	122%	転入者数-転出者数 (内訳)R2:302人 R3:289人 R4:412人
	観光入込客数(人)	H30 1,356,869	R6 1,572,000	R4 2,012,743	128%	
	女性就業率(%)	H27 42.9	R6 上昇	R2 44.5	上昇	令和2年国勢調査結果より
	若年者就業率(%)	H27 53.2	R6 上昇	R2 55.6	上昇	令和2年国勢調査結果より
	合計特殊出生率	H29 1.33	R6 1.6	R3 1.35	84%	令和3年度人口統計調査結果及び令和3年4月1日の市内人口により算出

令和4年度 地方創生推進交付金の交付実績

資料3-1

[単位:円]

□地方創生推進交付金(ソフト事業:3事業)

(補助率:事業費の1/2以内)

A:新ガーデンデザインプロジェクト推進事業<R3年度~R7年度(2年目)>

番号	事業名	申請		実績	
		事業費	交付決定額	事業費	交付額
A-①	恵庭市公式アプリの開発	20,092,000	10,046,000	19,932,000	9,966,000
A-②	恵庭の魅力拡充 (電動付き自転車を活用した新しい観光スタイルの構築)	1,515,000	758,000	1,514,590	757,295
A-③	恵庭の魅力拡充 (市内観光施設でのホーストレッキング事業)	303,000	151,000	297,000	148,500
A-④	恵庭の魅力拡充(シティセールス事業)	2,940,000	1,470,000	2,867,500	1,433,750
A-⑤	市民健康づくり(歩くことを通したまちづくり事業)	755,000	377,000	752,216	376,108
A-⑥	市民健康づくり(サイクルフェスタ事業)	3,000,000	1,500,000	2,990,000	1,495,000
A-⑦	移住定住の推進	5,500,000	2,750,000	4,616,125	2,308,062
小計		34,105,000	17,052,000	32,969,431	16,484,715

B:外国人も暮らしやすく・活躍できる多文化共生のまちづくり事業<R2年度~R4年度(3年目)>

番号	事業名	申請		実績	
		事業費	交付決定額	事業費	交付額
B-①	地域住民との関わりに関する課題を解決するための事業	10,000	5,000	6,820	3,410
B-②	日本語習得支援に関する事業	551,000	275,000	143,586	71,793
B-③	生活支援事業	640,000	320,000	679,500	339,750
小計		1,201,000	600,000	829,906	414,953

C:いしかり・ライフstyle魅力発信・若者地元定着促進事業(北海道、近隣市町との連携事業)<R2年度~R6年度(3年目)>

番号	事業名	申請		実績	
		事業費	交付決定額	事業費	交付額
C-①	就職促進事業	4,000,000	2,000,000	3,758,000	1,879,000
C-②	起業支援事業	1,513,000	756,000	1,108,308	554,154
小計		5,513,000	2,756,000	4,866,308	2,433,154

地方創生推進交付金合計	40,819,000	20,408,000	38,665,645	19,332,822
--------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

(補助率:事業費の1/2以内)

□地方創生拠点整備交付金(ハード事業:-事業)

※令和4年度の申請なし

□デジタル田園都市国家構想推進交付金

※令和4年度の申請あり(所管:総務部総務課)

【A-①】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

恵庭市公式アプリの開発

資料3-2
企画課

「観光」、「市民生活」、「経済」、「まちづくり」の4つの異なる分野の施策をつなげ、一体的な施策展開を進めることにより相乗効果を引き出すことを目的として、分野の異なる施策において、共通で使用可能な恵庭市公式ポータルアプリを開発した。今後はポイント付与機能を中心に、ユーザー自身で健康管理などの情報を入力できる機能や、恵庭の特産品が購入できる「お買物」機能など、アプリ機能の拡充に向けて基盤整備・更新を進める。

関連数値目標・KPI

恵庭市公式ポータルアプリ	KPI(R4) 目標値	KPI(R4) 実績値
アプリへの登録者数	1,000人	3,206人

担当コメント

令和4年度は、ガーデンフェスタ北海道2022をはじめとするイベント等にブース出展を行い、市内のみならず来訪者に広く周知し、アプリ登録者の増加に努めた。

また、市内の観光スポットや飲食店を紹介する「観光サイト・スポット情報」機能を作成し、恵庭市の魅力発信を行っている。

今後は、ユーザーによる市内飲食店や観光施設等周遊を促すポイント機能の付与や、健康管理機能をはじめ、より充実した内容を目指して開発を進める。

取組事例 恵庭市公式アプリの開発

公式アプリ「えにわか」

○主な取組

- ・ごみ分別・リサイクル情報、健康・子育て情報、公共施設、防災・災害情報といった生活情報のお知らせのほか、イベント、観光グルメ、ふるさと納税返礼品サイトなどの各種情報を掲載。
- ・市内店舗や各種施設の検索に加え、ルート案内も可能な地図機能を搭載。
- ・ガーデンフェスタ北海道2022においてダウンロードキャンペーンを実施。登録者へノベルティとしてクリアファイル、ボールペン、子ども連れには絵本の配布を行い、アプリ登録者数の増加に努めた。



シティセールス庁内推進検討委員会の開催

アプリの開発にあたり、庁内関係部署と必要な機能について適宜協議検討を行った。計3回開催。

- ・第1回 (R4. 8. 5)
- ・第2回 (R4. 11. 21)
- ・第3回 (R5. 3. 24)

【A-②③】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

資料3-2

恵庭の魅力拡充（電動付き自転車を活用した新しいスタイルの構築、ホーストレッキング事業） 花と緑・観光課

2020年11月にオープンした「花の拠点(はなふる)」を核としたアフターコロナを見据えた新たな観光スタイルの創出や、札幌恵庭自転車道整備を契機としたサイクルツーリズムの推進のためにシェアサイクル事業を実施する。また、緑のふるさと森林公園では、新たな観光コンテンツの造成のため、乗馬体験などのホーストレッキング事業を実施し、新しい恵庭の魅力拡充を目指す。

関連数値目標・KPI

シェアサイクル事業	R4(2022)
えにくる利用者数	395人

ホーストレッキング事業	R4(2022)
乗馬体験者数	149人

担当コメント

【シェアサイクル事業】

令和4年度は、令和3年度に比べ、新型コロナウイルスの感染が収まってきたこともあり、利用者数が100名以上増加した。

また、第39回全国都市緑化北海道フェア開催によりシェアサイクルに対する需要があったため、その過半数が道外利用者という結果となった。

令和5年度も引き続き、近隣市町村への周知や、サイクルマップを用い、観光目的の利用を促していく。

【ホーストレッキング事業】

令和4年度に初実施となった事業だが、実施時間5時間で体験者数149名と好調な滑り出しとなった。

乗馬体験を契機に、アスレチック遊具などの当園の魅力を発信できたことから、令和5年度においても本事業を契機とした当園の魅力発信及びリピーター獲得を継続したい。

取組事例 - 恵庭の魅力拡充事業

1. 電動アシスト付き自転車を活用した新しい観光スタイルの構築

○事業説明

- ・R3.5～恵庭シェアサイクル「えにくる」開始
- ・サイクルポートを3カ所設置（恵庭駅・恵み野駅・花の拠点）
- ・電動アシスト付き自転車 14台導入
- ・24時間、自転車をレンタル・返却できるシステムを導入

○主な成果（4月28日～10月31日）

- ・利用者数 395人
- ・売上 208,495円



2. 緑のふるさと森林公園ホーストレッキング事業

○事業説明

- ・実施日：10月9日 10:00～15:00
- ・3歳以上を対象とした乗馬体験を、緑のふるさと森林公園アスレチック広場にて実施した

○主な成果

- ・体験者数 149人



【A-④】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業 恵庭の魅力拡充事業(シティセールス)

資料3-2
企画課

恵庭市の魅力や資源を市内外へ戦略的にアピールするため、恵庭市シティセールス推進委員会を開催。R4年度は特にInstagramを活用し、デジタル媒体を活用した情報発信を重点的に実施した。また、恵庭ブランド確立のため、「ガーデンシティえにわ」を付けたInstagramでの情報発信を促進する取組みの一環として、参加型イベントの「えにわフォトコン2023」を初めて開催するなど、市内外に向けPRした。

関連数値目標

Instagram	R2年度末	R3年度末	R4年度末
フォロワー数	402人	1,608人	7,154人

担当コメント

令和4年度は、令和2年度に策定した「恵庭市版シティセールスプラン」に基づき、【ガーデンシティのブランド確立】を推進する取組みを中心に実施。具体的には、恵庭市公式Instagramでの情報発信を重点的に進め、投稿を頻繁に行うほか、Instagramアカウントと連動したデジタル広告の実施も行い、閲覧数の増加、フォロワー数の増加に努めた。

加えて、ハッシュタグ「#ガーデンシティえにわ」を付けたInstagramでの情報発信を促進する取組みの一環として、参加型イベントの「えにわフォトコン2023」を初めて開催。

冬の大きなイベントであるシーニックナイトなどと連携して、写真にハッシュタグをつけて発信してもらうことで市が発信する情報のみでなく、市民や市に関心のある人が積極的に情報を発信し、市内外に恵庭市の魅力が伝わる取組みとなった。今後も恵庭市の魅力発信に努めたい。

取組事例 えにわシティセールス事業

恵庭ブランド確立のための「ガーデンシティえにわ」PR

恵庭のブランドイメージ向上のため「ガーデンシティえにわ」を前面に出したデジタル広告の実施及びフォトコンテストなども実施した。



- 主な取組
 - ・公式Instagramでの投稿
 - ・ラジオCM (地域FMラジオe-niwa)
 - ・恵庭市公式Twitter開設
 - ・デジタル広告の実施 (Instagram、検索サイト)
 - ・えにわフォトコン2023の開催



恵庭市シティセールス推進委員会の開催

- 取組
 - 令和2年度に策定した「恵庭市版シティセールスプラン」に基づき、市内の学識経験者、関係団体からの推薦者、公募市民からなる委員会を開催。Instagramを活用したシティセールスについて意見交換を行った。
 - ・第1回開催(R4. 9. 16)
 - ・第2回開催(R5. 3. 22)



【A-⑤】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

市民健康づくり 歩くことを通したまちづくり事業

資料3-2

健康スポーツ課

歩くことを通して市民全体の健康意識や健康増進活動の向上並びに地域交流の推進、歩くことと楽しさを重視したイベントを組み合わせることで、健康づくり無関心層を含めた多くの市民の健康への関心と参加を促し、市民の健康意識の向上と健康づくりへの機運を高めた。

関連数値目標・KPI

	KPI目標値 (最終目標)	KPI実績値 (R4)
参加人数	2,000人	1,884人

事業参加者数の状況



担当コメント

今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、内容の変更や制限があったものの、集団でのイベントを、感染対策を取りながら実施する等、昨年度の結果や今年度の状況を踏まえ、withコロナの対応をとりながら事業を実施。

事業全体の参加者数は1,884人で、昨年度より若干の減少となったが、リピーター層はコロナ禍以前同様に戻ってきており、次年度に向けては新規層の開拓に努めたい。

取組事例

市民健康づくり事業

歩くことを通したまちづくり事業

○歩くイベントの実施

歩くことを通して市民全体の健康意識や健康増進活動の向上並びに地域交流を推進し、健康づくりを推進するまちづくりを目指す。

- ・Jリーグウォーキング
明治安田生命保険相互会社と共催。
- ・上級指導者による冬の健康づくりセミナー
ノルディックウォーキングの説明と体験
- ・健康体操・ノルディックウォーキング教室
- ・歩くパネル展



○えにわ健康チャレンジの実施

楽しく自然と歩くきっかけをつくり、施設活用や健康づくりの危機促進を図ることを目的に実施。

- ・ウォーキング&クイズラリー
- ・えにわ冬の健康チャレンジ・クイズラリー



○まちなか休憩所の設置

市内ウォーキングコース近郊の公共施設、民間施設等を活用して、「まちなか休憩所」を設置。まちなか休憩所では、以下の内容を市民に提供。

- ・トイレや休憩利用・健康情報を提供・クイズの設置・参加記念品配布



【A-⑥】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

市民健康づくり（サイクルフェスタ事業）

資料3-2

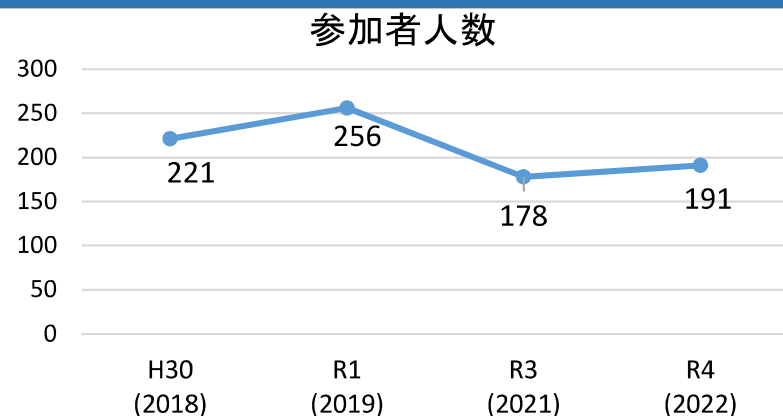
まちづくり推進課

サイクルフェスタ・恵庭運営協議会が主体となり、自転車利用を通じた恵庭市の魅力の再発見、歩いて暮らせるまちづくり(CO₂削減)、自転車利用促進、観光推進や地域経済の活性化、健康増進などを図ることを目的として、「サイクルフェスタ・恵庭」を開催した。

関連数値

	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
参加者 人数	221人	256人	中止	178人	191人

参加者人数の推移



担当コメント

R3年度から、コロナ禍でも行える内容かつ子供から大人まで幅広い層に気軽に参加してもらうことを目的とし、従来の1日走破型ではなく、1カ月程度のイベント期間中に自身のペースで自由にチェックポイントを巡りポイントを集める方式に一新。参加者からは高い満足評価を得ている。

今後も本イベントを重ねることで、自転車を通じた豊かな自然やガーデニング、農業環境、食の体験により恵庭の魅力の発信に努めたい。

取組事例

「サイクルフェスタ・恵庭」事業

サイクルフェスタ・恵庭の開催

○主な取組

- ・H30年度より、本イベントの取り組みに協力頂ける市内の企業・団体等と市が連携し、事業の更なる発展と運営体制の強化を図るため運営協議会を設立しイベントの開催を実施。
- ・R3年度は新型コロナウイルス感染拡大の中で、より多くの方々が安心して参加ができるよう従来の1日に一斉に集まるイベント形式から開催方式を一定期間、個々の参加者で市内チェックポイントを周遊する形式に変更し、獲得ポイントに応じて景品交換の抽選を実施。

○主な成果

- ・運営協議会の設立達成

- ・協議会構成員：19社
- ・協賛企業：18社
- ・後援：5団体

- ・R4年9月3日(土)～R4年9月25日(日)：イベント開催

申込者人数：208名（内大人188名、子ども20名）

参加者人数：191名（内大人172名、子ども19名）

参加者内訳

市内参加：54名（R1年比10%↑）、市外参加：137名

- ・R4年10月1日(土)：抽選・景品交換会

参加者人数：172名

【アンケート結果】

- ・初参加者：54.5%
- ・イベント満足度：93.1%
(満足～やや満足)



【A-⑦】新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

移住定住の推進

資料3-2

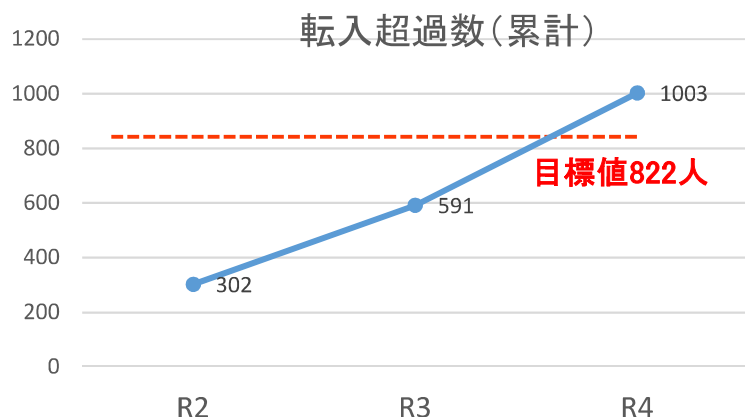
まちづくり推進課

恵庭市への移住・定住を促進するため、移住相談会への出展、オーダーメイドツアーの実施、移住・定住サイトにおけるPR及び移住者向け情報誌の発行ならびに移住者交流会などを実施した。

関連数値目標・KPI

	KPI目標値 (R2～R6累計)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
転入超過数 (転入者数－ 転出者数)	822人	302人	289人	412人

転入超過数の推移



担当コメント

移住希望者を対象とした恵庭市内の案内を行うオーダーメイドツアーのほか、道外への移住相談会への出展、オンライン移住相談など個々のニーズに応じた対応を実施。

これら移住施策が奏功し、恵庭市への転入者は、3年でKPI目標値(822人)を上回った。

今後においても個々のニーズに応じた移住促進施策、新規住宅地の開発や既存住宅の流通促進の取り組みを推進することにより、転入者の増加が期待される。

取組事例 移住促進事業

移住相談会の実施

○主な取組・成果<対面式相談会>

- ・【札幌】北海道マイホームセンターブース出展…4組
- ・【東京】北海道移住相談会…27組
- ・【福岡】北海道mini移住・交流フェア…11組
- ・【大阪】北海道移住・交流フェア2022…25組
- ・【東京】北海道さっぽろ圏移住フェア2023…11組
- ・【東京】JOIN移住交流フェア2023…14組



○主な取組・成果<オンライン相談会>

- ・北海道オンライン移住相談会…6組
- ・恵庭市オンライン移住相談…11組

恵庭市への移住に関する情報発信

○主な取組

- ・「北海道で暮らそう」HPのメインバナー、Instagramへ広告掲載
- ・北海道マイホームセンターでのカタログコーナー設置
- ・大阪梅田に恵庭市のポスター掲示及び移住パンフレットの配置
- ・恵庭市移住定住サイトの運営管理
- ・恵庭市移住者向け情報冊子「ガーデンシティライフ恵庭」の作成

オーダーメイドツアーの実施

○主な取組・成果

- ・恵庭市への移住を考えている方を対象に、希望に合わせたプランを作成し、ジャンボタクシーを貸し切りオーダーメイドの恵庭市内案内ツアーを行う(3時間コース)
- …17組(内3組移住)



移住者交流会の実施

○主な取組・成果

- ・恵庭市への移住してきた人達の交流会を開催
- …11組21名

2017年以降、恵庭市内では東南アジア国籍を中心とした外国住民が急増しており、そのほとんどが日常生活におけるコミュニケーションの基本となる日本語の習得が不十分であることから、日本語を学ぶ場を希望する外国住民への支援を積極的かつ継続的に実施。令和4年度から地域日本語教室である『日本語ひろば「えにわ」』を開催している。

関連数値目標・KPI

日本語習得支援ボランティア(日本語サポーター)の育成セミナー及び講座	KPI目標値 (R2～R4 累計)	KPI実績 (R2) ※1年目	KPI実績 (R4) ※3年目
参加延べ人数	60人	39人	209人

担当コメント

令和4年度は、令和2年度・3年度に実施した日本語ボランティア入門養成講座を受講したボランティアが中心となって、市内在住外国人を対象に対話の中で日本語を学習する教室『日本語ひろば「えにわ」』を開設した。

教室は毎月2回定期的に開催しており、在住外国人のニーズもあることから、引き続き継続していく。

また、言語を習得するだけでなく、季節のイベントや自国の料理を紹介するなどの取組みも行っており、多文化共生が推進されている。

令和5年度については、ボランティア団体との連携を進め、安定期に教室が運営できるように進めていきたい。

取組事例 — 日本語習得支援に関する事業

日本語ひろば「えにわ」の開催

令和4年度から日本語ひろば「えにわ」を開催した。市民ボランティアに協力頂き、市内在住外国人を対象に対話の中で日本語を学習する教室となっている。

令和4年度は全19回開催し、日本人ボランティアのべ209人、市内在住外国人のべ96人が参加した。既設のイベントなども定期的に開催し多文化交流を図っている。



多文化共生のまちづくり連絡協議会の開催

世界各国から訪れる人にも暮らしやすい多文化共生のまちづくりを推進することを目的として、多文化共生のまちづくり連絡協議会を開催。

受入団体での情報交換を行うほか、学識者からの講演、協議会構成員以外も対象とした「やさしい日本語講座」などを実施し、多文化共生のまちづくりを推進した。

- ・第1回開催(R4. 9. 16)
- ・第2回開催(R5. 3. 24)



北海道や近隣市町村と連携し、さっぽろ圏の若者を中心として、地元定住を目的とし、地元の企業を知り、就職に繋げる取り組みや市内での起業を促進する取り組みを行った。

関連数値

就職促進事業	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
参加者総数	55人	23人	76人	97人
就職者総数	6人	3人	24人	16人

○起業支援事業

- ・令和4年度起業塾の受講生から3名が起業。
- ・起業支援補助金の利用者等を含めると令和4年度中に16名が起業。

担当コメント

就職促進事業については、合同企業就職説明会を3年ぶりに完全対面で実施した。参加者は令和3年度を上回り、97名の参加があった。中でも正社員向けへの参加が多かったが、就職者数が比例していないため、市内企業と求職者のミスマッチ解消が今後の課題となっている。

起業支援事業については、起業塾に参加した受講生同士のネットワークが形成される等の効果のほか、3名が起業した。

毎月開催の起業個別相談会にも一定の参加があり、数年前に起業した方への対応によるフォローアップも行い、きめ細かな支援を行っている。

今後も効果的な支援を継続し、市内での起業を促進したいと考えている。

取組事例

恵庭の就職促進と企業支援

就職促進事業

○主な取組

- ・合同企業就職説明会
(正社員／パートアルバイト向け)
- ・採用担当者向けセミナー

○主な成果

- ・合同企業就職説明会
(正社員向け) ⇒参加者：54名
(パ・ア向け) ⇒参加者：43名
就職決定者 合計16名
- ・採用担当者向けセミナー
参加者：16企業23名



起業支援事業

○主な取組

- ・開業するときの様々な疑問や悩みを解消し、事業を成功に導くノウハウを学ぶセミナーである「恵庭起業塾」の開催。

毎月一回開催している中小企業診断士による専門的な相談が受けられる起業個別相談会の開催。

○主な成果

- ・起業塾参加人数：17名
- ・個別相談会参加人数：19回（実人数17人）



令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金の採択状況について

[単位:円]

□地方創生推進タイプ(ソフト事業:2事業)

A:新ガーデンデザインプロジェクト推進事業<R3年度~R7年度(3年目)>

【継続事業】

事業名	事業費	交付決定額	説明(主な内容)
①恵庭市公式アプリの開発	11,377,000	5,689,000	・観光&ウォーキングアプリの拡充及びポイントアプリ開発 ・アプリシステム利用料 ・アプリ登録者拡大に伴う広報活動
②恵庭の魅力拡充	9,923,000	4,961,000	・電動付き自転車を活用した新しい観光スタイルの構築 ・市内観光施設でのホーストレッキング事業 ・シティセールス事業
③市民健康づくり	3,255,000	1,627,000	・歩くことを通したまちづくり事業 ・サイクルフェスタ事業
④移住定住の推進	6,420,000	3,210,000	・移住定住希望者への支援
小計	30,975,000	15,487,000	

B:いしかり・ライフstyle魅力発信・若者地元定着促進事業(石狩振興局取りまとめ事業)
<R2年度~R6年度(4年目)>

【継続事業】

事業名	事業費	交付決定額	説明(主な内容)
就職促進事業	3,758,000	1,879,000	合同企業説明会、求職者向け職業相談事業、企業担当者向けセミナー
起業支援事業	1,513,000	756,000	起業支援、事業承継支援相談、起業塾
小計	5,271,000	2,635,000	

地方創生推進タイプ合計

36,246,000

18,122,000

□デジタル実装タイプTYPE1(ソフト事業:3事業) 所管:総務部情報政策課
<R5年度>

【新規事業】

事業名	事業費	交付決定額	説明(主な内容)
電子入札システム導入事業	5,205,000	2,602,000	電子入札コアシステム、電子調達ポータルサイト、電子調達サポートセンターの導入
窓口支援システム(書かない窓口)導入事業	26,579,000	13,289,000	窓口支援システムの導入
LINEを活用した市民サービス導入事業	27,272,000	13,636,000	LINE公式アカウントおよびLINEチャットボットの導入、LINE活用を目指した講習の開催
小計	59,056,000	29,527,000	

□地方創生拠点整備タイプ(ハード事業)

※令和5年度の申請なし

※令和5年度より交付金の名称が変更されています。

地方創生推進交付金 → 地方創生推進タイプ

地方創生拠点整備交付金 → 地方創生拠点整備タイプ

第3期恵庭市総合戦略の策定について

1. 総合戦略とは

我が国における急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少の抑制、東京圏への人口一極集中の是正、地域で住みやすい環境の確保により、将来にわたって活力ある日本社会の維持を目的に、平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」が施行された。本法律に基づき、市町村においても国の「まち・ひと・しごと総合戦略」を勘案し、地域の実情に応じた基本的計画の策定努力義務がある。

恵庭市では、平成27年10月に「恵庭市総合戦略」を策定し、必要に応じて改訂を加え、令和2年3月には「第2期恵庭市総合戦略」を策定している。

国は、デジタルの力を活用して地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・深化するとともに、デジタル実装の基礎条件整備を強力に推進するための施策を盛り込み、令和4年12月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」に変更されたことを受け、本市総合戦略について見直しを進めるものである。

2. 総合戦略の見直し視点

- ・複数の施策を相互に関連付けて実施し、施策間連携により効果的な課題解決を図る。
- ・連携中枢都市圏などの広域的な取組みの深化に加え、デジタルの力を活用することで、地理的な連担性に捉われない地域間連携を図る。
- ・産業界、教育機関、金融機関、労働団体、メディア、士業等構成する推進組織（恵庭創生懇談会）に、デジタル分野に精通する団体・有識者が参画する。
- ・ゼロカーボンのほか恵庭市独自施策として、都市計画マスタープラン、ポストガーデンフェスタや盤尻地区まちづくり検討会、えにわっこ応援センター、恵庭市デジタル化推進計画、近隣自治体における新たな事業展開との連携等を踏まえるとともに、新たな社会変化にも機動的展開に対応していく「第3期恵庭市総合戦略」を新たに策定する。

3. 計画の構成（案）

- ・目的
- ・対象期間（令和6年4月～令和11年3月）5年間
- ・総合戦略の基本目標
- ・総合戦略の数値目標
- ・横断的施策
- ・重要業績評価指標（KPI）
- ・推進管理（PDCA）

4. スケジュール（案）

- ・令和5年度中に「第3期恵庭市総合戦略」を策定する。
- ・全庁と内容を協議しながら作業を進め、恵庭創生懇談会で協議・承認のうえ策定する。
- ・行政評価マニュアルに基づき、市民向けパブリックコメントを実施する。
- ・議会には、常任委員会で進捗及び策定について報告する。

第3期恵庭市総合戦略 策定スケジュール(案)

スケジュール											
R5											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>【恵庭創生懇談会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員選任 ・デジタルの委員追加 </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>【職員有志】</p> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>【市民協議】</p> </div> <div> <p>【議会報告】</p> </div> </div>											
		<div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">第1回(7/3)</div> ○ <ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略説明 ・KPI報告 ・交付金状況 ・新戦略策定概要 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">第2回(8/28)</div> ○ <ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略(素案)の内容協議 ・新たな具体的施策とKPI 			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">第3回</div> ○ <ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略(案)協議 ・施策の横断的展開 			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">第4回</div> ○ <ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略の策定 	
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; width: 80%;">「施策の横断的展開」の方向性検討</div>								
								<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; width: 60%;">パブリックコメント</div>			
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">第2回定例会</div> ○ 常任委員会報告 (見直し方針)			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">第3回定例会</div> ○ 常任委員会報告 (交付金関係・KPI)		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">第4回定例会</div> ○ 常任委員会報告 (見直し進捗状況)			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">第1回定例会</div> ○ 常任委員会報告 (総合戦略策定)	